

大阪市旭区 西川種子店 様



霜氏の過去・現在・未来のお話に、各自自分と重ね合わせ、気づきや学びを得ました



霜氏 講話



しほんだお花を取り除く作業。収穫された玉ねぎの皮を剥いたり根の部分を切り除く作業。ひとつひとつ丁寧に行ないました



店先には収穫したての枝豆や淡路島産の良質な玉葱などが盛りだくさんに並んでいました

質疑応答のお時間を経て、次は作業体験へ。「しほんだお花を取り除く」「収穫された玉ねぎの皮を剥いたり根の部分を取り除いたりする」「戻ってきた野菜の種が入った袋の仕分けをする」といった作業を行います。お花や野菜の流通事情・保存方法等、具体的かつ専門的な知識について、作業をしながら教わりました。無心になって作業をしたり、みんなで協力して作業をしたりと、実際に触れる喜びも含んだ貴重な機会でした。



野菜の種が入った袋の仕分け作業。みんなで手分けをして取り組みました



最後は晴れやかに記念撮影タイム

企業見学会

触れる・感じる体験

商品から平和を届ける

7月15日、みや澤グループ 代表取締役会長 宮澤裕之氏のご紹介により、大阪市旭区の西川種子店様で企業見学会が開催されました。梅雨の終盤、早朝の雷雨は衝撃的でしたが、開催時には何事も無かったかのように青々と晴れ渡りました。初めの自己紹介を経て、代表の霜氏より事業の紹介がありました。最初に就職した設計会社でのエピソードでは、「朝から晩まで働き、残業も当たり前」「夢や目標が無いまま、目先のお金を追う毎日だった」と振り返られる霜氏。その後現在の稼業を継がれる事になりますが、厳しい現場で叱られていた経験が糧になったと話されています。

「きょうばし」に戻った後の振り返りでは、霜氏のお話にあった、「農家や流通の本質、仕事に対する姿勢」についてのテーマから幅広く意見交換を行い、その中でも「商品売るだけではない、世に平和を届ける」という想いに参加者一同、改めて感銘を受けました。また、利用者さんからは「霜さんが18歳の時に働くイメージがなかった」とおっしゃって安心しました。「自分この考え方と行動を改めるきっかけになりました」といった意義のある感想もたらされました。お忙しい中、「触れる・感じる」の豊かで貴重な機会を頂き、本当に有難うございました。



「加光」生活支援員 荻田 拓也

「どうしたら仕事が面白くなるのか・楽しくなるのか」という視点の大切さを学ばせていただきました。もちろんやらなくてはならない事、目の前の仕事も大事ですが、それだけでは中長期的な見通しを得るのは困難です。「楽しさ」と「やるべき事」のバランスよく考えて仕事を続けていって、ビジョンを得るという方法を今後実践していきたいと思います。



「きょうばし」サービス管理責任者 寺村 肇

振り返りでは非常に沢山のテーマについて話し合いました。「小売店と量販店の違いは?」「代々続く信頼と実績がお客様と繋がる原動力となる」「お客様が種を大切に育てて収穫した野菜は美味しい。そういうメッセージを届けられる霜さんのような存在が増えたら世界に笑顔が広がる」「仕事はモノを売るだけではなく、平和を生むことが出来るんやね」等々。霜さんの温かい人柄や丁寧な仕事ぶりを肌で感じる、非常に内容の濃い時間を頂きました。



西川種子店 代表 霜 典考氏

「仕事とは? 働くとは?」

仕事というのは「切り替え」と「振り返り」の意識が大事だと思います。仕事は自分が失敗をしても止まる事なく流れ続けます。前へ進み続けなければなりません。その時に不可欠となるのが「切り替え」で、とにかく自分の役割に集中する事が重要ですが、失敗や叱られた事は切り替えにより忘れて忘れるのではなく、家に帰るなり休日なり、ある一定の落ち着いた段階で「振り返り」をして次回に活かそうと努力する必要があります。前へ進み続けながらも、少し立ち止まって歩いてきた道を振り返ってみて、そしてまた前へ進む。その繰り返しの繰り返しにより、人は仕事を通じて成長をしていくのだと思います。



Thymeのキーコンセプトは「学ぶ・楽しむ・伝える」3つ。

7月、夜の社会見学・堺港ナイトクルーズに行ってきました。船に乗って夜の海に出るという日常では体験できないロケーションに大盛上がりでした!

8/27(金)「はたらくについて考える会」の準備を予定しています!

スタッフ紹介



入職時期 2021・6
名前 上野 理恵子
担当部署 事務/支援員

人間関係も空間もキレイに 楽しく心地よい環境づくりへ

生活訓練施設「加光」にて備品の管理、施設内の清掃を担当しています。もともと飲食店のサービススタッフとして働いていましたが、コロナ禍の影響で業務終了となり、さらには子供が支援学校へ進むタイミングもありまして、求人目留まりが止まりました。子供の将来がどうなっていくのか、知ることが出来るかもしれないし、自分の子育てを通して得られた経験を活用できるかもしれない、という想いもありまして、このお仕事に就こうと決めました。今後はもっと利用者さんと楽しく雑談をして、「あの人」としてしゃべるの楽しいわ」と打ち解けていただけたら嬉しいですね。会話は活力の源です。人間関係も空間も心地よい環境を保つようにして、それが少しでも利用者さんの自立のお役に立つことができればいいなあと思っています。今は子供3人の生活に時間を費やしていますが、落ち着いたら支援職に携わることがいいかもしれないと考えている自分があります。こちらの利用者さんとも子供達も社会に出たら日々楽しく過ごせて、交流もできて——そんな日を夢見ながら、皆さんと接しています。

「加光」生活支援員 赤嶺英俊



上野さんは職員に対して声掛けをしてくれたり、雑談で場を明るくしてくれたり、ホントに気遣いの方ですし、掃除もしっかりしていただいているので、すごく助かっています。これからもよろしくお願ひ致します。

連載 トライアル雇用奮闘記 第4回

利用者紹介 Fさん

人のチカラの大きさ — 多様な人財の内包社会へ —

「きょうばし」サービス管理責任者 寺村 肇

今回は、支援者の立場からFさんの奮闘を追ってみたいと思います。最初にFさんが加光を利用し始めた頃の印象は、高校・大学・大学院と高学歴でしたし、若さもあってか、少し「とがった」印象がありましたね。それは冗談半分の表現なのですが、まったく的外れとも言い切れない所がありまして、いわゆる「優等生タイプ」、真面目に頑張りすぎて自分を大切にすることを忘れてしまう傾向があったと思います。

その後、Fさんは2度の就労を経て、きょうばしに戻ります。その頃になると、以前とは違って「自分に目が向いている」という感じがひしひしと伝わってきました。自分自身の性格傾向、思考のパターンなど単に病気や障害という言葉で

はくれない幾つものテーマと向き合う就労経験を積んだので、自己理解が相当に深まったのだと思います。理想と現実の狭間で心身の疲労を溜め込んでいる様子もはっきりと分かりました。それから約1年間、悩みの続く停滞の時期となりました。

そうした状況で、Fさんは活路を拓こうと企業見学会に参加します。誠幸運輸さんで社長や社員の皆さんのお話を聞くにつれ、Fさんの目に力強い生気が宿りました。支援者として彼の良さを引き出すには、仕事量や時間の配慮よりも、人のチカラが必要だと感じていましたので、その後に誠幸運輸さんから実習の機会を頂いた事は千載一遇の機会になると確信しました。

Fさんという存在を受け入れて下さった事は、単なる障害者雇用ではなく、「多様な人財の内包社会」の実現へ向けた強烈なインパクトがあると信じています。今後、誠幸運輸さんと私たちの協働を広く内外に発信することで、その価値をしっかりと示していけたらと思います。



みや澤様での見学会で出し巻き作りを体験



率先してイベントのボランティア参加



大源味噌様での見学会で積極的に質問



誠幸運輸倉庫様での実習振り返り。澤田社長と山口氏からアドバイス頂きました

特定非営利活動法人ウィズ 地域生活支援センター ふらっとめいじ

<https://www.flatmeiji.com/>

出会えてよかったと 思ってもらえる相談員に — 関わり、繋がり —

相談支援事業 管理者 主任相談支援専門員 伊吹 智文 氏



地域生活支援センター「ふらっとめいじ」様は、「大阪市在住の精神のご病気をお持ちの方が、困った時、不安な時、誰かと話したい時などに日中を過ごせる場所」として運営を行っておられます。そこには「利用者同士が支え合える仲間になってもらいたい、障がいのある人が自分の意思の尊重と自己決定を行いながら自分らしく、そして市民として社会参加して欲しい」という想いがあるそうです。今回取材を受けていただいた伊吹氏は8年前から相談支

援専門員に従事。「①お金②日中活動の場③通院・医療」という3本の土台を基軸として活動を展開されています。そこでは自身の知らなかった様々な諸相があり、人との関わりで学ぶ事がとても多いと話されます。利用者に関わる事は、その人の人生に関わっていく事と同じと考え、「この相談員に出会えてよかったな」と思ってもらえる事を大切にされています。また長期入院患者の方の地域移行の仕事もされており、そういった方達が地域生活を続けていける事が、自身の喜びとやりがいとなっていると話されました。

関係機関・支援者・職員、そうした人との関わり、そして利用者同士の繋がり。これらの重要性を改めて学ばせていただく機会となりました。



荻田 拓也が行く! インタビュー
生活訓練施設「加光」生活支援員 荻田 拓也

関係機関様との「魅力びと」紹介